

INACHOO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：池上幸平 副会長：唐澤千明 幹事：熊谷 健 公共イメージ向上委員長：田中真人



2021-2022 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022 RI会長
シェカール・メータ
<インド (西ベンガル州) >



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第1618回 リモート例会 令和4年4月19日(火)



■ 点 鐘 12:30

■ 会長談話 池上幸平会長



今日の会長談話は、地区研修・協議会の報告があるので短めにと幹事の健さんから時間の割り振りをされましたので短めに行います。

4月号のロータリーの友を見ていましたら（5月10日に三沢君が発表予定）ガイ散策と言うページがありました。「例会の充実は、ロータリーと社会の発展をもたらす、だからこそロータリアンはすべての例会へ常に出席する義務を負う」と強調しています。言い換えれば、例会に価値や魅力が無いと欠席者が多くなり、やがてクラブは衰退し、社会の発展にも貢献できなくなるとありました。現在コロナ禍の中で伊那の地も第6波が増え、治まる所を知りません。この状況の時、例会で顔を合わす事が出来ない例会、リモートでの例会のコミュニケーションの取れない限界を感じます。一方通行の会話の難しさをどうやっても打開できない力不足を痛感しています。よそのクラブの情報を貰って、前向きに進めたいと思っております。皆様のいいアイデアがありましたらぜひ教えてください。

■ 幹事報告 熊谷健幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ ニコニコボックス

- ◆池上幸平 今日では地区研修・協議会の報告があります。平澤年度の始まりですネ。意欲に満ちた、行動力のある役員皆様、頑張ってください。応援してますヨ。
- ◆熊谷健 社会的にも個人的にも良い事はないのですが、幹事なのでニコニコボックスへ入れます。
- ◆小椋文成 昨日、IACの例会に参加してきました。今のところ1年生1人、2年生1人の新入会員が入ってくれたようです。

■ 出席報告 会員数45名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席率100%
前回出席率 修正なし

■ 持ち回り理事会の報告 熊谷健幹事



1. 地区大会信任状の選挙人について

■ 地区研修・協議会の報告 令和4年4月10日（日） オンライン開催

①会長部会 平澤理 会長エレクト



【会長部会全体会】

- ・次年度地区資金予算の説明と承認
 - ・各ガバナー補佐から自己紹介（9名）
- その後9グループに分かれ分科会

【上伊那グループ分科会】

上伊那グループの分科会では、会長エレクト同士がお互いの情報や思いを共有し、助け合ったり、共に事業を実現できるようになることを目標として意見交換を致しました。

（内容は）

- ①青少年奉仕活動をクラブでどのように実施したいか。
- ②コロナ後の対面での奉仕活動・オンラインでの奉仕活動をどのように実施したいか。
- ③DEI（多様性・公平さ・インクルージョン）への取組み。
- ④会長として実現したいと考えている事。

②幹事部会 杉本徳治 次期幹事



「幹事部会」での内容

1. ロータリークラブの目的を理解する。
2. 幹事の役割を理解する。
3. 幹事の仕事を理解する。
4. 理事会運営を理解する。
5. クラブ例会を理解する。
6. クラブ委員会を理解する
7. 幹事の心構えを理解する。

この七つのテーマで約一時間、地区研修委委員 古川静男委員より説明を受けました。

全てを理解することはできませんが、少しでも理解し行動できるよう努めてまいります。

ロータリークラブの目的は「親睦と奉仕」です。目的達成のため、皆様のお力添えとご協力をお願いいたします。

③会員増強部会 宮下健 次期会員増強・プログラム委員



会員増強部会、原一馬委員長の代理として出席しました。

増強の弊害に成る会費の問題ですが、飯田東RCでは“準会員制度”を取入れ会費を7割くらいとし、正会員に成るまでの救済措置としているとの旨、報告していました。良いか悪いかは別として、変化を取入れ行動に移す事はクラブとしても大切な事だと感じました。

④公共イメージ向上部会 市川満貞 次期公共イメージ向上委員長



4月10日に海老屋さんにおいて地区研修・協議会に参加しました。研修はZoom会議の方式で行われ、全員での本会議を1時間ほど行ったあと、分科会に分かれて、地区委員の小椋さんと私が「公共イメージ向上委員会」に参加しました。当委員会だけが時間になっても会場が開かずハラハラしました。生田委員長が自己紹介したあと、「各クラブの広報活動を発表してください」ということになり、そんな発表をダラダラしているうちに予定の1時間が終わってしまいました。研修会のレジュメによれば広報の役割やあり方などを勉強する機会だと思っていたので少しガッカリしました。「そもそも公共イメージとは何ぞや？」といった本格的な勉強は8月7日に改めて講師を招いて開催するということでした。

⑤職業奉仕部会 宮原英幸 次期職業・社会奉仕委員長（小椋SAA代読）

標記部会に於ては、各地区での活動紹介を行い、共有を図った。それらを参考に今後の活動への示唆を得た。

出された意見等で印象的なものについて、下記。

1. 行政とのかかわりの重要性（所管地区での貢献）
2. 人材育成が重要
3. 会員卓話や学校での卓話、出前講座の実施
4. 職場訪問先の候補には、会員増強への布石も考慮している
5. 女性経営者の企業訪問で視点が新しくなった
6. 職場訪問では、環境への配慮、女性・障害者雇用の工夫への注目
7. RCが社会に役立つための価値創造（世界は主婦もRCに入る時代）
8. 会員の健康維持（健康でないと良い職業奉仕もできない）

⑥社会奉仕部会 鈴木一比古 次期職業・社会奉仕副委員長



4月10日の地区研修・協議会の社会奉仕部会に、ズーム参加をしました。

飯田南RCの正木委員長より、社会奉仕委員会の活動に理解が足りていないので、各クラブの活動内容について知りたいから、指名されたクラブの活動内容を発表してください。ということで、指名されたクラブより活動内容の報告がされました。私は、これなら聴いていれば研修会が終わるなと思っていたところ、なんと、伊那中央RCの鈴木さんお願いします。と言われドッキリ。しかし、事前に平澤エレクトより、何か聞かれたら去年の11月の天竜川河川美化活動を発表しとけばいいよ、と創立記念例会で市川委員長が発表した資料をいただいていたので、そのとおりに発表しておきました。他クラブの活動内容は公園の整備、植樹が7割を占めていました。

⑦青少年奉仕部会 井上修 次期青少年奉仕委員長/地区インターアクト委員



青少年奉仕部会は28名の参加で行われました。

先ず、若林青少年交換委員長から「短期青少年派遣学生募集要項」の説明があり、強調されていたのは提唱クラブ・ホストファミリーへの受託は決して英語力が必須ではないという事ですので、積極的に参加して欲しいとの事です。次に脇田青少年交換小委員長より長期派遣が5名、短期1名で進んでいると報告がありました。

続いてライラとローターアクトの報告があり、殊更ライラは次回開催が駒ヶ根ロータリークラブになるようで、開催時期などの相談がありました。飯沼インターアクト委員長から、伊那西高校のインターアクトの動向を聞きながら進めてはとのアドバイスがありその方向になっています。



⑧ロータリー財団部会 松田靖宏 次期ロータリー財団委員長



私が参加した、ロータリー財団部会についてご報告させていただきます。

ロータリー財団部会には、資金推進小委員会、ポリオオプラス推進小委員会、グローバル補助金推進小委員会、財団資金管理会計小委員会、そして地区補助金小委員会の5小委員会で成り立っておりますが、その委員会の目的と目標、今年度の計画と重点事業、事業日程について各小委員会担当者の方から説明がありました。参加者からの発言、質問等の機会はありませんでしたが、大まかなロータリー財団部会の活動についての知識を得ることは出来たと思います。

ロータリーでは、会員の皆さんに様々な形で寄付のご協力をいただいている訳ですが、ロータリー活動を根幹で支えているロータリー財団への寄付の理解と推進が、大変重要であるという事を学ぶことができました。

⑨米山奨学部会 加藤篤 次期米山記念奨学委員長



米山奨学委員会は佐久RC町田委員長の司会で実施されました。

現在の米山奨学生の状況につきましては「ハイライトよねやまVol. 265」のとおりです。また、昨年配布された「豆辞典」もご参照ください。

第2600地区の場合は信州大学の学生がほとんどで、中国籍の学生が圧倒的に多いわけですが、RC米山奨学委員としては、奨学生の国に偏りが無いように苦慮している現状です。

事業としては、本年5月の地区大会でのホームカミングと11月の地区大会でのホームカミングが大きな行事です。

第2600地区の一人当たり寄付額は全国の中位です。次年度も、ぜひ皆様の寄付によるご協力をお願いいたします。

⑩デジタル化推進部会 田中真人 次期デジタル化推進委員（小椋SAA代読）

デジタル化推進委員会は委員長に上田六文銭ロータリークラブの合原さん、カウンセラーに桑沢ガバナーを交えて分科会では約30人の参加で行われました。

分科会の内容はデジタル化について各クラブの現状、来年度の委員会活動の方向性の確認が行われました。その報告では現在デジタル化に関する委員会があるクラブは全体の30%程度で、現在委員会のないクラブは来年度に委員会を設置する、あるいは設置に向けて検討中ということでした。そのため当クラブのようにデジタル化の委員会があつて、県の感染レベルに応じてリモート例会を実施しているケースは相当進んでいると実感しました。

その報告を受けてカウンセラーである桑沢ガバナーは、デジタル化を推進したい一番の理由は各クラブに例会を中止してほしいという気持ちがあると話をされたので、デジタル化を進めるためにもまずは委員会メンバーがデジタルに慣れることを目的に、5月20日にリモートによる委員会を実施すること、その後も月1回リモートによる委員会の実施が決定されました。

委員会が開催されましたら例会の中で報告させていただきます。

■ 点 鐘

13:05

次回例会

5月10日(火) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店